

県代表の9人が壮行会

電子回路
組立て 佐々木さん(秋田職能大短大)が
出場

若年者ものづくり大会

静岡県で来月開催される第18回若年者ものづくり競技大会に県代表として出場する9選手の壮行会が13日、秋田市のホテルメトロポリタン秋田で開かれた。北鹿関係では、秋田職業能力開発短期大学校

の佐々木健介さん(19)が「電子回路組立て」の部に出場。「さらに技術を磨き、悔いのないよう頑張る」などと抱負を語った。職業能力開発施設や工業高等学校などでもものづくりに関



若年者ものづくり競技大会の本県代表認定証を受け取る佐々木さん(ホテルメトロポリタン秋田)

する技能を学んでいる原則20歳以下の若者を対象にした大会。厚生労働省と中央職業能力開発協会の主催。本年度は8月1、2日に静岡県のツインメッセ静岡などを会場に15職種の実技を実施。本県からは旋盤、電子回路組立て、電気工事、建築大工、ウエブデザイン、業務用ITソフトウ

エア・ソリューションズ、グラフィックデザインの7職種に9人が出場する。

壮行会で県職業能力開発協会の佐藤賢一郎会長は、過去の大会で本県代表選手が全国1位を獲得したことなどを紹介し、「大会ではこれまでの練習で身に付けた力を存分に発揮して」などと激励、選手に県代表の認定証を授与した。

続いて選手の決意表明が行われ、佐々木さんは「放課後や帰宅後の時間を使って大会に向けて努力してきた。大会まで残り短い期間となったが、気を抜かずさらに技術を磨き、悔いのないよう頑張りたい」などと述べた。

昨年の大会で鷹巣技術専門学校から建築大工の部に出場し入賞した岩山創羽さん(ヤナギヤ)が「無我夢中で技術と力を出し切った爽快感は大きな収穫で、仕事の励みになっている。力を出し切れるよう頑張つて」などとエールを送った。